

## 一般演題 4-1

### 高気圧酸素療法の併用により病巣の縮小を伴う臨床症状の改善を認めた頸椎硬膜外膿瘍の1例

小阪崇幸<sup>1)</sup> 田代博崇<sup>2)</sup> 北田真己<sup>3)</sup>  
 原田正公<sup>3)</sup> 加藤勇樹<sup>1)</sup> 幸崎弥之助<sup>1)</sup>  
 田北智裕<sup>1)</sup> 浅尾千秋<sup>4)</sup> 橋本伸朗<sup>5)</sup>

- |    |                |       |
|----|----------------|-------|
| 1) | 国立病院機構熊本医療センター | 神経内科  |
| 2) | 国立病院機構熊本医療センター | 臨床工学部 |
| 3) | 国立病院機構熊本医療センター | 救命救急部 |
| 4) | 国立病院機構熊本医療センター | 放射線科  |
| 5) | 国立病院機構熊本医療センター | 整形外科  |

症例は64才、男性。既往に糖尿病あり。後頸部痛、頭痛にて発症。他院にて変形性頸椎症の診断にて外用剤を処方されたが症状は改善せず原因不明の発熱も伴うようになったため、第7病日に当院神経内科に紹介となった。受診時、体温37.0℃、項部硬直、頸椎可動域制限を認めたが、その他に明らかな神経学的異常は認めなかった。血液検査にて白血球 13600/ $\mu$ l、CRP 33.1mg/dlと著明な炎症反応の高値を認め、髄液検査にて細胞数731/mm<sup>3</sup>、蛋白173mg/dlと高値を認めたため、髄膜炎の診断にて同日入院とし、抗菌薬（メロペネム4g/日）、抗結核薬、抗真菌薬、ステロイドパルス療法にて加療を開始した。入院後の画像検査にて、C1-2レベルの頸椎前面にガス像を伴う頸椎硬膜外膿瘍を認め、同部位の頸髄には圧迫によるものと考えられる髄内T2高信号病変を認めた。椎間板炎や椎体炎の所見を認めない一方、椎体前の筋肉群の腫大を認め、内部には膿瘍も認められた。髄液培養は陰性であったが、血液培養にて黄色ブドウ球菌が検出され、起炎菌と考えられた。第14病日より左麻痺の出現を認めるなど臨床症状の増悪を認めたため、第15病日より高気圧酸素療法の併用を開始した（5回/週、合計18回）ところ、臨床症状、画像所見とも次第に改善を認めた。

頸椎硬膜外膿瘍は神経学的な後遺症を残し得る神経救急疾患のひとつである。大量長期の抗菌薬のみにて軽快することもあるが、しばしば外科的なドレナージ術を要するとされる。脳膿瘍や頸椎硬膜外膿瘍な

どの難治性中枢神経細菌感染症の治療に関してはすでに多数例での報告が数多く存在する<sup>1)-3)</sup>が、高気圧酸素療法の併用の有効性については症例報告が散見されるのみで確立されていない<sup>4)-6)</sup>。疾患の特殊性から今後もrandomized control studyは行われにくいと考えられるため、本例のような症例の蓄積が重要と考えられた。

#### 【参考文献】

- 1) Reihnsaus E, Waldbaur H, Seeling W : Spinal epidural abscess : a meta-analysis of 915 patients. *Neurosurg Rev* 2000 ; 23 : 175-204.
- 2) Connor DE Jr, Chittiboina P, Caldito G, Nanda A : Comparison of operative and nonoperative management of spinal epidural abscess: a retrospective review of clinical and laboratory predictors of neurological outcome. *J Neurosurg Spine* 2013 ; 19 : 119-127.
- 3) Patel AR, Alton TB, Bransford RJ, et al. : Spinal epidural abscesses : risk factors, medical versus surgical management, a retrospective review of 128 cases. *Spine J* 2014 ; 14 : 326-330.
- 4) Larsson A, Engström M, Uusijärvi J, et al. Hyperbaric oxygen treatment of postoperative neurosurgical infections. *Neurosurgery* 2002 ; 50 : 287-295.
- 5) 鮫島浩司, 川内義久, 丸山裕之, 他. : 感染性脊椎疾患に対する高気圧酸素療法を併用した保存療法. *整形外科と災害外科* 2007 ; 56 : 211-213.
- 6) 富村奈津子, 鮫島浩司, 川内義久, 他. : ガス産生菌による硬膜外膿瘍の1例. *整形外科と災害外科* 2008 ; 57 : 256-259.